

集会案内

日曜日

礼拝 : 2:00pm-2:45pm

教会住所

c/o Grace Hills Church
24521 Moulton Pkwy
Aliso Viejo, CA 92637
中庭の小さいチャペル

地図



ホームページ

www.irvinihongokyokai.org

榊原宣行牧師

電話(714)827-6244

Eメール : nobu@occc.org

杉村宰牧師

電話 (714)527-1456

Eメール:sugimura1950@gmail.com

◎石叫 ■

「神に失望した時」①

最近、フィリップ・ヤンシーというシカゴ在住のジャーナリストが書いた『神に失望した時』（いのちのことば社・一九九六）に、深い感動を覚えた。「ある休日、千キロほど離れた所に住んでいる母を訪ねたことがあった。母子がよくするように、私たちは遠い昔の思い出話をしていた。突然、古い詰まった大きな箱が棚から落ち、床に写真が散乱した。写真の山は私の子供時代からの青春を物語っていた。カウボーイやインディアンのかっこうをしたり、一年生の時にやった劇のうさぎのピーターの衣装や、子供時代に飼っていたペット、延々と続くピアノの発表会、小・中学校から高校、最後に大学の卒業式などである。その中に幼児の写真があった。裏に私の名前が書かれていた。何の変哲もない。私はどこにもいる赤ん坊だった。ふつくらとしたほお、髪の毛はうすく、手に負えなさそうで、どこを見ているのかわからない目をしてた。だが、その写真はペットがくわえていたのではないかと思うほど、しわだらけでずたずたに引き裂かれていた。私は母に、ほかにきれいな写真がいくらかもあるのに、どうしてこんなにめちゃくちゃな写真をとってあるのかと聞いた。

私の家族について知っていただけだ。私が生後十ヶ月の時、父は脊髄性小児麻痺にかかり、三ヶ月後、私の初めての誕生日の直後に死んだ。二十四才で全身が麻痺し、筋肉が極度に弱かったので、呼吸を助ける鋼鉄の箱の中で過ごさなければならなかった。見舞に来る人はほとんどいかなかった。一九五〇年当時、人々は小児麻痺には今日のエイズと同じくらいの恐怖心を抱いていた。忠実に見舞っていたのは母だけで、いつも決まった場所に腰を下ろした。そうすると、鉄の肺のわきにボルトでつけた鏡に母が映って、父に見えた。

母はその写真を、思い出の品としてとっておいた。父が病床にある間、ずっと鉄の肺にとりつけていた写真だったのである。父は、妻と二人の息子の写真が欲しいと言った。母は写真を金属のでっぱりの中に押しこまなければならなかった。それで私が赤ん坊の時の写真はしわくちゃになったのである。私は父が入院してからはめったに会わなかった。子供が病棟に入ることが許されなかったからであり、入れても記憶にとどめておくことはできなかったであらう。

Rev. Tsukasa Sugimura

「私達の教会の歩み」

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。現在は、榊原宣行牧師の監督のもと、杉村宰牧師と啓子師をはじめ、田畑彰牧師、ジェームス・パーク牧師、佐藤裕士兄と、信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをし、月一回の家庭集會を開いております。

「ミッション・ステートメント」

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令（マタイ28：18-20）に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。